

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 木村 格
 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●● 良い医療を安全に、心を込めて

20年度も、よろしく申し上げます

院長 木村 格

うらかな春の日差しを受けて、当院の桜並木も一斉にほころびはじめ、まさに春満開の季節になりました。

また、この季節は年度の変り目でもあり、出会いと別れの季節でもあります。当院においても、これまでご尽力いただいた職員をお送りしつつ、フレッシュな新人職員や北海道東北ブロック管内からの転任者など多くの方々を迎えることができました。

特に、今回の人事異動では、副院長をはじめ看護部長、事務部長、薬剤科長の4名の幹部が交代しましたが、以前、当院に勤務していた方もおりますので、心強い限りです。これまでの豊富な経験を生かして、新たな体制でサポートしていただきたいと思います。どうぞ、よろしく申し上げます。

御承知のとおり、当院の経営は黒字に転換し、念願であった病棟建替整備の工事についても、国立病院機構本部のゴーサインが出たところです。今まさに、当院の新たなスタートが始まろうとしています。

今後、工事に伴う様々な課題を乗り越えていくこととなりますが、これまで取り組んできた病院経営の健全化によって経営の安定を図ることにより、新病棟オープンによる更なる発展が期待されているところです。

当院の基本理念である「良い医療を安全に、心をこめて」について、職員一人一人が実践し、この新しい体制で宮城病院をより一層盛り上げていただきたいと思います。

皆さまのご協力を、どうぞよろしく申し上げます。



前列左より：
 佐藤事務部長、鴫田看護部長、
 久永臨床研究部長、木村院長、
 清野副院長

後列左より：
 藤原管理課長、千田企画課長、
 渋谷副看護部長、鳥海薬剤科
 長、佐藤経営企画室長

創立70周年に向けて新病棟建築が決定

宮城病院は昭和14年(1939年)に開設され、来年創立70周年を迎える。これまでも病棟内部の改修工事やあすなる病棟成人化対策に伴う拡張工事を繰り返してきたが、建築後40年近くが経過し、これらの病棟にもさまざまな不具合がでてきていた。

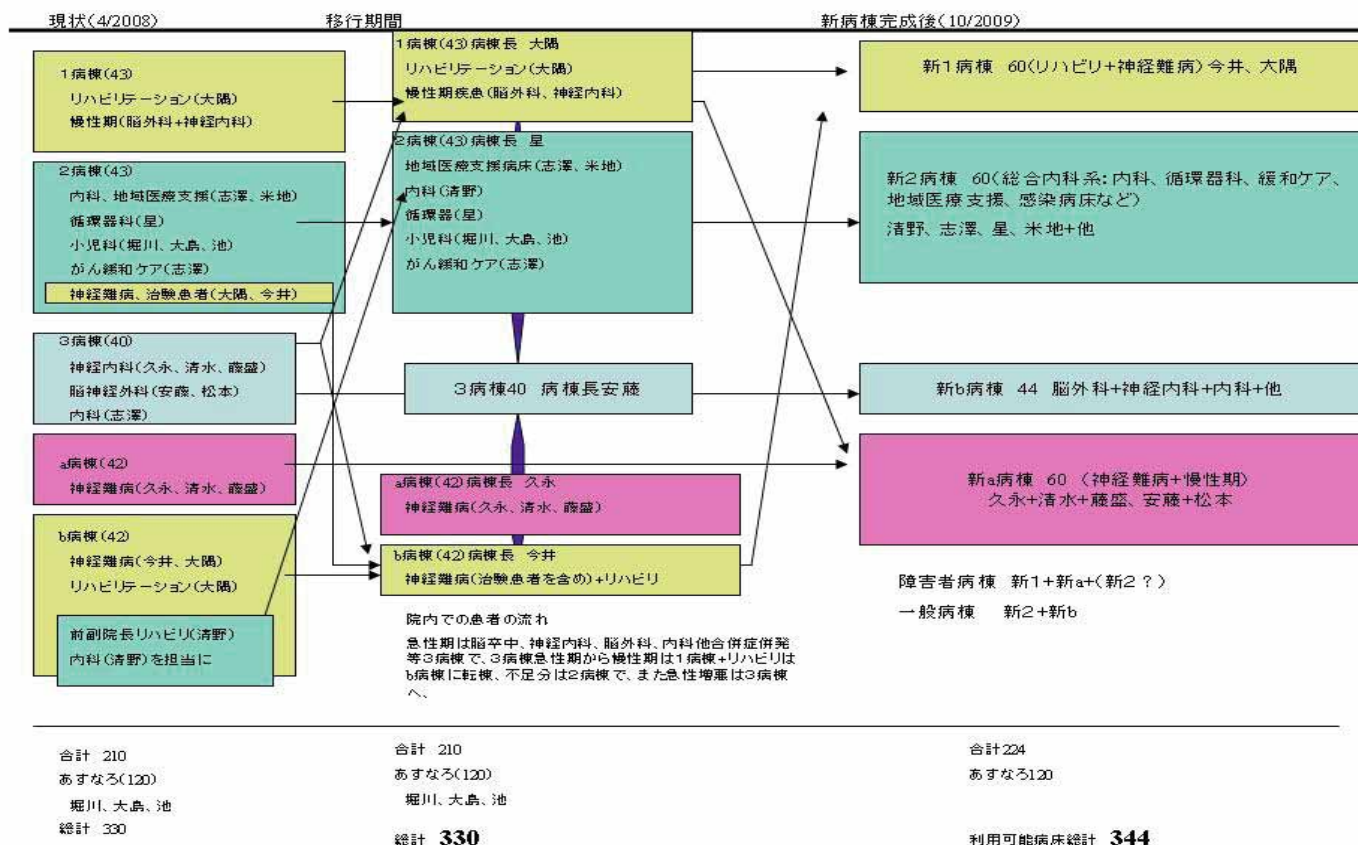
利用者からも、また働く職員からも早く建て替えをして欲しいと強く期待されていた1-4病棟とあすなる病棟の全面建て替え工事がようやく承認され、先日国立病院機構本部から通知された。1-4病棟とあすなる病棟を一緒に建物にした新病棟の建て替え工事で平行して神経難病センターa病棟の60床への増床工事が行われ、最終的に平成21年度中にこれらの病棟が新しい環境になる予定である。創立70周年を迎えるにあたって、新病棟建築は最も記念すべき事業になるであろう。

現在、働きやすく、利用者にとって快適な新病棟の配置、整備について病院幹部と各病棟担当で詳細な検討がなされている。近日中には具体的な設計図が明らかになる予定である。病棟を新しく建て替えるという作業ではなく、新しい理想的な病棟環境を創り上げる過程が大切であり、今後そこで行われる医療のありかた、安全性、医療の質の向上を含めた利用者へのより良いサービスについて十分検討し、具体化して行きたいと思う。

特に、病棟の床の損傷によって配水管から水が漏れたり、壁の損傷などが激しいあすなる病棟については、これからもここを生活の場とする長期利用者の期待が大きく、利用者を中心としてこれを支援、代弁する親の会からの意見も十分考慮して行きたい。これからの新しい医療のありかた、病棟での療養のありかたを一緒に考え、創造して行くよい機会になると確信している。

当院は、職員の努力で現在のところ国立病院機構病院の中で健全投資病院群に分類されている。しかし、これまでに建築資金の積み立てがないため、今回の工事費用は全て本部からの長期借入になる。これまでの経営努力を継続できれば十分返済が可能と判断がなされ、今回建築が承認された。

今後、職員一人ひとり経営意識を持ち、『よい医療を安全に、心を込めて』実施して行かなければならない。新病棟は、療養環境の面と経営効率から重症児者病棟を除く病床(120床)の3分の1が個室になる。この個室の活用が今後極めて重要な課題になる。また、今年度新設される最新型のヘリカルCTスキャンなど大型医療機器の効率的な活用、他急性期病院からのリハビリテーションの受け入れが大きな鍵になる。今後、内科系専門医師の充実に伴って地域医療支援の充実、悪性腫瘍や神経難病に対する緩和ケア、高血圧、糖尿病、肥満などメタボリックシンドロームに対するきめ細やかな医療の推進が期待できる。



平成20年度新採用者研修を終えて



私は、今年の4月より当院の専任教育担当師長として任命を受け、看護職員の資質の向上のため教育に関する支援及び教育企画運営業務を担当しています。

当院では、桜が美しい花びらをつけ始めた頃に17名の新人看護師、作業療法士、事務職各1名の計19の新採用者を迎えることができました。国立病院機構の職員並びに、宮城病院の職員としての自覚と責任を持って職場に適應できることを目的としたオリエンテーションを5日間実施しました。新採用者研修も教育委員会の担当者と共に全般にわたり運営を担当しました。

研修では院長先生をはじめ、看護部長や事務部門の方々、看護師長・副師長さん達に講義を担当していただきました。その内容は、難しいものだったり、興味津々であったりと受講者の感想は様々でした。机上での学習は慣れているはずの新採用者ですが、「また、勉強・・・?」と感じた人も少なくなかったかもしれませんが、しかし、実技を交えた研修では、お互いの実施状況を確認しあいながら楽しそうに受講している場面もありました。技術研修では採血や点滴、経管栄養など実践に直結する内容であり実技であったためか、リラックスした雰囲気の中、時間が過ぎていきました。上手に出来た人、出来なかった人、様々ではありましたが、研修後に配属になる病棟への不安と期待が入り交じりつつも生き生きと感じられました。最後の懇親会は、解放された安堵感からか、笑顔が印象的でした。

今回の研修では準備の段階から参加出来ませんでした。次年度からは今回の研修結果を踏まえ、企画の段階から参加させていただき新採用者の研修がより充実したものに出来ればと考えております。

最後になりましたが、今回の研修のために、講義やオリエンテーションを担当して下さいました皆様へ感謝いたします。そして、関連部署の皆様！新採用者の方々をよろしくお願ひ致します。

(専任教育担当師長 丹野 くみ子)



～技術研修～

～技術研修～

～懇親会～

紹介医療機関(平成19年4月～20年3月末日現在) ご紹介ありがとうございます

- ・松村クリニック (119件)
- ・公立相馬総合病院 (86件)
- ・金上病院 (53件)
- ・羽根田医院 (43件)
- ・宮城県立がんセンター (40件)
- ・みやぎ県南中核病院 (92件)
- ・平田外科医院 (56件)
- ・やべ内科クリニック亘理診療所 (45件)
- ・渡辺病院 (43件)
- ・山形外科医院 (39件)

上位10医療機関、他201医療機関からご紹介いただいております。

診療案内

平成20年4月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科			木村 格	木村 格		清野 仁
		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	仙台医療センター医師
			米地 稔	米地 稔	米地 稔	米地 稔
神経内科	新患	木村 格	清水 洋	久永 欣哉	大隅 悦子	藤盛 寿一
	再来	今井 尚志	今井 尚志	藤盛 寿一	久永 欣哉	志賀 裕正
		清水 洋	大隅 悦子		木村 格	平岡 宏太良 (高次脳機能障害)
呼吸器科		芦野 有悟		今村 淳治		
消化器科		未 定				
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
外科				小島 誠一 (13時から)		
整形外科		芳賀 盛 (13時から)				
形成外科						澤村 武 高木 尚之 隔週交代 (13時~17時15分)
脳神経外科		松本 乾児	安藤 肇史	松本 乾児	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大医師 第4(木)のみ	
リハビリテーション科			大隅 悦子		大隅 悦子	
		齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来			久永 欣哉		
	ALS外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来					平岡 宏太良
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	木村 格	木村 格	木村 格		
	脳ドック	木村 格	木村 格	木村 格		
	AGA外来	木村 格			木村 格	

受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、**救急の方は随時受け付けいたします。**

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、**その場合初診時に2,625円を負担**していただくことになりますので予めご了承ください。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5km²イノ位置です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

